**鳥取県高等学校体育連盟主催大会における**

**新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン**

【　ソフトテニス　専門部】令和３年　ＳＴＥＰ２用

**全般的な対策**

**1．大会参加について**

〇選手、監督、コーチ、運営スタッフ、引率者等（以下、大会参加者とする）は、大会２週間前から検温結果及び体調について別紙の「様式１　体調管理表」に記録し体調管理に努める。

○大会当日は、各校・各チームの責任者が各校・各チームに関係する来場者が全員記載されていることを確認し、「様式２　大会時体調チェックシート」を大会本部へ提出する。当日、検温を行い、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できない。

○大会参加にあたっては、中央競技団体からの方針並びに「大会への参加及び大会実施におけるガイドライン（令和３年７月１日版）」を遵守する。

**2．移動について**

〇大会参加者は、移動の際、可能な限り周囲との間隔を空けることとし、必ずマスクを着用し、大きな声で話さない。併せて、可能な限り換気に努める。

〇換気が難しい場合は、密閉となる時間が最小限となるよう短時間ごとに休憩を取る。

**3．宿泊について**

　○宿泊を伴う場合は、原則個室とする。ただし、個室での宿泊が困難な場合は、宿泊者が部屋の定員の50％以下となるよう人数を制限する。

　○相部屋となる場合は、物の共有を行わないようにするとともに、マスクの着用や換気など感染予防対策を徹底する。

　○宿泊での食事は一人盛りでの提供が望ましいが、大皿等で提供される場合は、従業員の方に取り分けてもらうか、取り分ける役を決めてトングや取り箸を使い回さないようにする。

**具体的な対策について**

**1．大会参加校（選手・監督、コーチ等）が遵守すべき事項**

（1）集合時の感染予防対策

・大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。

・大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒をする。

・大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。

・公共交通機関を利用する者は、マスクを着用し、集団にならず会話等を控える。

・学校単位で広い集合場所を設置し、集合時にアルコール消毒を徹底させ密にならないようにする。

（2）受付時の感染予防対策

・受付等において、参加者同士が十分な距離を確保して並び、受付する。

・選手個人での受付はせず、各校顧問が代表して行う。

・受付時に、体調管理表、大会当日体調チェックシートを各校でまとめて提出する。

・受付窓口にアクリル板、ビニールシート等を付けることで対面での感染リスクに対応する。

（3）待機中の予防対策

・参加者は必ずマスクを持参し、スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。ただし、天候条件により息苦しさを感じるようであれば、熱中症予防のためマスクを無理に着用しない。また、こまめな水分補給を徹底させる。

・参加者は、個人間の距離（できるかぎり２ｍ以上）を確保して待機する。

・大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。発声での応援はせず、拍手のみとする。

・試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。

・タオルは個人で準備し、共用しない。

・選手は待機場所が指定されている場合はその指示に従い、特に指定されていない場合は密集を避けて待機し、個人間の距離を十分に確保して過ごす。

・飲食は場所が指定されている場合はその指示に従い、特に指定されていない場合は密集を避けた上で、対面にならないようにし、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず、速やかに食事をする。

・飲食物の提供時、参加者が同じトングなどで大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを提供するなどの工夫をすること。

・更衣室は、1 回に利用できる人数は1 名とし、換気をしながら使用する。

・トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いは石けんを用い30 秒以上しっかり手指を洗浄すること。

（4）試合中の感染予防対策

・大会参加者は必ずマスクを着用する。

・選手は原則として、試合中のみマスクを外すことができる。

・選手、監督、コーチは、コートの入退場時に手指消毒を行うこと。

・試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。

・運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。

・試合中、選手は唾や痰をはくことを極力しない。

・試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと。応援は拍手のみとする。

・試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などをしないこと。

・選手、審判は試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶をネットから離れてサービスライン上で行うこと。また、試合後の選手間での握手を禁止する。

・ペア同士のハイタッチや握手を行わず、至近距離での声かけや話し合いも行わないこと。ペアで話をする際には、対面しないようにすること。

・ボールの手渡しは避けて、ワンバウンドかラケットで渡す。

・用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共用をしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップやボトルの使い回しをしないこと。

・審判は、コールだけでなく、必要に応じてサインも行うこと。

・審判は、各自で筆記用具を持参して、自分のものを使用すること。

（5）試合後の感染予防対策

・試合後、すみやかに手指のアルコール消毒を行う。

・開閉会式・表彰式を実施する場合は密集とならないよう、参加人数を制限し速やかに執り行う。

・参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

・ミーティングなどにおいて、長時間密にならないように配慮する。

・ゴミは各自持ち帰ること。

・感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように配慮すること。

（6）試合観戦時における予防対策

・観戦時は必ずマスクを着用し、周囲との間隔を十分空けるとともに、集団となっての応援、ならびに発声による応援は行わない。

・大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状がある者は、来場できない。

・飲食をする際は、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにして速やかに食事する。また、水分補給は個人のものを用意し、まわし飲みはしない。

・タオルは個人で準備し、共用しない。

・上記の対応を守れない者は退場させる。

・参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

・感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように配慮すること。

**2．運営スタッフが遵守すべき事項、及び実施すべき感染予防対策**

（1）集合時の感染予防対策

・大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。

・大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒をする。

・大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。競技場に設置してある施設使用調査票を記入し、提出する。

・打合せ等が必要な場合は個人間の距離を確保して短時間で済ませる。

（2）受付時の感染予防対策

・受付場所において、参加者等が距離をおいて並べるよう目印を設置する。

・受付業務を行う運営スタッフは対面を避け、アクリル板、ビニールシート等で遮蔽した状態をつくり受付を行う。

（3）生徒待機場所、待機中における予防対策

・大会主催者は、参加者へマスクを持参させ、スポーツを行っていない時や会話をする時はマスク着用を呼びかける。

・大会主催者は、個人間の距離（できるかぎり２ｍ以上）を確保できる控え場所を設営する。

・運営スタッフは、大会参加者や観客に対し、大会中に大きな声での会話や、発声での応援等をしないよう声をかける。

・運営スタッフは、大会参加者や観客に対し、飲食時は対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにして速やかに食事するよう声をかける。

・運営スタッフは、複数の参加者が触れる箇所（ドアノブ、トイレ、洗面所のレバー、手すりなど）は、定期的にアルコール等で消毒する。

（4）試合中の感染予防対策

・運営スタッフは、運営業務に当たるとき必ずマスクを着用する。

・運営スタッフは、試合の前後だけでなく試合中も、こまめな手洗い又は、消毒を行う。

・運営スタッフは、複数の参加者が触れる箇所（ドアノブ、審判台、ベンチなど）は、定期的にアルコール等で消毒する。

・運営スタッフは、試合中、業務上必要な時以外は、大きな声で会話をしないこと。

・運営スタッフは、選手の呼気の影響を避けるよう、配置に注意して業務にあたる。

・運営スタッフは、大会参加者や観客が、密な状態とならないよう声をかける。

・運営スタッフは、各自で筆記用具を持参して自分のものを使用する。

（5）試合後の感染予防対策

・参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

・大会終了後のミーティングは短時間で行い、慰労会等の開催は三つの密を避けること。

・ゴミは各自持ち帰ること。

・感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように配慮すること。

**その他**

**1．大会開催可否について**

（1）出場する学校において、感染者が確認された場合の大会開催の可否については、大会主催者で協議の上、決定する。